

2021年度「裾野市地域公共交通網形成計画」事業実施状況の評価

資料 No.10

1 アウトプット指標

| 基本方針  | 目標   | 評価指標<br>(アウトプット指標)注               | 現状値     | 目標値<br>(2022年) | 進捗<br>状況 | 実績値<br>2018年 | 実績値<br>2019年   | 実績値<br>2020年   | 実績値<br>2021年   | 実績値<br>2022年 | 評価実施時期 |
|---|--|-----------------------------------|---------|----------------|----------|--------------|----------------|----------------|----------------|--------------|--------|
| 基本方針1:広域<br>アクセスに配慮<br>しつつ、公共交通<br>機関の機能分担<br>と拠点機能の強<br>化によるネット<br>ワークの再構築<br>を目指す | 目標①:市民・来訪<br>者に合った地域公<br>共交通網の形成           | ①裾野駅・岩波駅利用者数                      | 173万人/年 | 177万人/年        | △        | 172万人/年      | 171万人/年        | 168万人/年        | 130万人/年        |              | 毎年     |
|   |  | ②自主運行バス収支率                        | 17.4%   | 20%            | △        | 18.1%        | 13.7%          | 12.2%          | 12.3%          |              | 毎年     |
|   | 目標②:地域に合っ<br>た移動手段の導入                      | ③地域と連携した地域特性に即し<br>た移動手段の確保数(実験等) | —       | 1件以上<br>(累積)   | ◎        | 1件           | 1件             | 1件             | 1件             |              | 実施後    |
|   | 目標③:交通結節<br>点の機能強化                         | ④乗継拠点・ポイントでの機<br>能強化の整備箇所数        | —       | 5箇所(累積)        | △        | /            | —              | 1箇所            | 0箇所<br>(1箇所)   |              | 実施後    |
|   |  | ⑤乗継のしやすさの市民の満<br>足度               | 26.8%   | 35%            | —        | /            | /              | /              | /              |              | 計画最終年度 |
|   | 目標④:バス・タク<br>シー運転手の人材<br>確保                | ⑥運転手確保策の実施回数                      | —       | 4回(累積)         | —        | /            | —              | —              | —              |              | 実施後    |
| 基本方針2:観光<br>振興や商業活性<br>化などまちづく<br>り一体となっ<br>た公共交通サー<br>ビスの展開を目<br>指す                | 目標⑤:乗降りやす<br>い車両導入による<br>利便性向上             | ⑦バス車両のバリアフリー化<br>率                | 89.6%   | 96%(累積)        | ◎        | 90.6%        | 96.4%          | 98.8%          | 100.0%         |              | 毎年     |
|   |  | ⑧UDタクシー導入台数                       | 0台      | 3台(累積)         | ◎        | 1台           | 2台(3台)         | 2台(5台)         | 1台(6台)         |              | 毎年     |
|   | 目標⑥:分かりやす<br>く、使いやすい公共<br>交通環境の充実          | ⑨運行情報案内の市民の満足<br>度                | 41.3%   | 50%            | —        | /            | /              | /              | /              |              | 計画最終年度 |
|   |  | ⑩商業施設等との連携による<br>利用促進活動の導入件数      | —       | 4件(累積)         | —        | /            | —              | —              | —              |              | 実施後    |
| 基本方針3:「地<br>域が支え、育て<br>る」持続可能な公<br>共交通の確立を<br>目指す                                   | 目標⑦:高齢者・障<br>がい者・子ども等交<br>通弱者の移動支援<br>策の充実 | ⑪高齢者運転免許証返納者数                     | —       | 800人(累積)       | ◎        | 188人         | 247人<br>(435人) | 194人<br>(629人) | 177人<br>(806人) |              | 毎年     |
|   |  | ⑫高齢者バス・タクシー利用<br>助成枚数             | 584枚    | 700枚           | ◎        | 531枚         | 2,377枚         | 1,809枚         | 2,157枚         |              | 毎年     |
|   |  | ⑬バス車両のバリアフリー化<br>率(再掲)            | 89.6%   | 96%(累積)        | /        | /            | /              | /              | /              |              | /      |
|   |  | ⑭UDタクシー導入台数<br>(再掲)               | 0台      | 3台(累積)         | /        | /            | /              | /              | /              |              | /      |
|   | 目標⑧:市民の公共<br>交通に対する意識<br>の醸成               | ⑮地域公共交通利用促進活動<br>事業実施回数           | 4回      | 20回(累積)        | △        | 3回           | 5回(8回)         | 0回(8回)         | 1回(9回)         |              | 毎年     |

|          | ◎     | ○    | △     | —     |
|----------|-------|------|-------|-------|
|          | 38.4% | 0.0% | 30.8% | 30.8% |
| アウトプット指標 | 5     | 0    | 4     | 4     |

【進捗状況凡例】

- ◎ 前倒しで推移 現状値が目標値に向けて想定以上に推移しており、目標達成が見込まれる。
- 順調に推移 現状値から判断し、目標達成が見込まれる。
- △ 取組みに遅れ 目標達成に向けて、より一層の推進を要する。
- 取組み前

2 アウトカム指標

| 評価指標<br>(アウトカム指標) | 評価指標   | 現状値  | 目標値<br>(2022年)   | 進捗<br>状況 | 実績値<br>2018年 | 実績値<br>2019年 | 実績値<br>2020年 | 実績値<br>2021年 | 実績値<br>2022年 | 評価実施時期 |
|-------------------|--------|------|------------------|----------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------|
| 「バス路線や便数」の満足度     | 市民意識調査 | 2.7% | 13%<br>年に2.2%の向上 | △        | 4.8%         | 4.7%         | 7.6%         | 4.4%         |              | 毎年     |

## 2021年度「裾野市地域公共交通網形成計画」事業実施状況の評価

### 3 主な取組み

- ① 自主運行路線「岩波駅線」「青葉台線」および「乗合タクシー千福が丘線」の利用者に対する聞き取り調査の実施  
利用実態を把握するため、6月に「岩波駅線」「青葉台線」および「乗合タクシー千福が丘線」へ乗車し、利用者に対して調査を実施した。
- ② 路線の廃止、退出申出、市民の移動の補完策等に関する住民説明会の実施
  - ・「すその一」及び自主運行路線の現状に関する住民説明会を4回（8月）実施した。
  - ・「乗合タクシー千福が丘線」の実証運行終了に関する住民説明会を1回（8月）実施した。
  - ・退出申出路線（事業者路線）に関する住民説明会を5回（8月、1月）実施した。
  - ・市民の移動の補完策に関する住民説明会を3回（1月）実施した。
- ③ JR 御殿場線利便性向上のための要望活動の実施  
JR 東海に対し、JR 御殿場線の増便等の要望活動を8月に実施した。
- ④ 地域公共交通利用促進活動事業の実施  
富岡第一小学校にて、10月に「バスの乗り方教室」を実施した。
- ⑤ 高齢者バス・タクシー利用助成の実施
  - ・すその一の廃止に伴い、これまで運行区域外にお住いの70歳以上の高齢者を助成対象としていたが、令和4年度から地区による制限をなくすための準備を実施した。
  - ・高齢者運転免許証返納者に対し、令和4年度から新たにバス・タクシー利用助成をするための準備を実施した。
- ⑥ 裾野市地域旅客運送サービス継続事業実施計画の策定  
すその一廃止後の市民の移動の補完策として、地域旅客運送サービス継続事業を活用した路線バスを令和4年度から運行するため、12月に「裾野市地域公共交通網形成計画」を改訂し、2月に⑥裾野市地域旅客運送サービス継続事業実施計画を策定した。
- ⑦ 市内循環バスの利用促進活動の実施
  - ・令和4年度から新たに運行する市内循環バスの利用促進のため、独自のチラシを作成し3月に市内全戸配布（18,357世帯）をすることで情報発信を実施した。
  - ・市内約70箇所（公共施設、スーパー、薬局、病院など）に路線図と時刻表のポスター掲示およびリーフレットの配架を実施した。
- ⑧ バスロケーションシステムの導入  
バスの運行状況をリアルタイムで確認できる一ビス「バスキタ！」を、富士急シティバス、富士急モビリティが導入した。